

「あおり家庭教育アドバイザースキルアップ講座 第2回」

令和4年9月17日（土）県総合社会教育センターより配信

1 趣旨

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおり親楽プログラム」（詳細はこちらへ）を使う研修会等に派遣する。

2 内容

【実践発表】「県内の家庭教育支援の実践」

発表者 五戸町家庭教育支援チーム

五戸町家庭教育応援隊

代表 小宮^{こみや}香^{かおり}氏



【情報交換】

3 講義要旨

- ・活動内容：保護者等への学びの場の提供、保護者等への地域の居場所づくり、アウトリーチ型家庭教育支援（※保護者の居場所に出向いて届ける支援）、保育所・幼稚園・学校等に届ける支援（情報提供、相談対応等）、その他の保護者に届ける支援（情報提供、相談対応等）
- ・活動の成果
 - ◆「キッズワークショップ」は身近な地域のイベントであること、保護者が同伴できない小学生の参加も可能としたことで、多数の方に参加していただき、交流を深めることができた。
 - ◆活動後、直接子どもたちから感想を聞き取り、次回の企画に活かすことで、内容をよりニーズに合ったものに発展・充実させることができた。
 - ◆参加した保護者からは、子どもたちが自ら興味をもったことに挑戦できること、また、交流を深めながら自由に遊べる場になっていたことが評価され、次回開催への期待の声も多くいただいた。
- ・課題と今後の展望
 - ◆行政との連携～行政の手が行き届かないところを埋めたい！
 - ◆地域に根づいた活動～五戸町のコミュニティを支えたい！
 - ◆ひとりひとりが育つ支援～提供する支援と育てる支援を提供する！
 - ◆生涯学習につながる家庭教育～子育て世帯、子育て世代だけじゃない家庭教育

4 アンケート結果から

受講結果に満足	100%	どちらかと言えば満足	0%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

- ・今日は貴重な実践報告ありがとうございました。実践内容がとても充実していて、観察→考察→実践→前向きな振り返りと、順序立てた活動内容は、これから何かをしてみたいという、自分と仲間にとって、参考にしたい部分がたくさんありました。本当に、この実践がコロナ禍での活動なのかと、きっと全国に発信しても皆さんが驚愕するのではないかと思います。
- ・実践発表では地域と保護者との共有の必要性を痛感しました。人と人とのつながりを大事にして、今後の活動に活かしていきたいと思います。
- ・あおり家庭教育アドバイザーに登録していただいてから、自分に何が出来るのかを常に考えてきました。これからも、アドバイザーのみなさまの得意を活かしたつながりを活かし、地域の家庭教育について考えていけたら素敵だと感じました。

地域に根付いた家庭教育支援を行っている小宮さんの発表は、各地域で活動しているアドバイザーにとって、お手本になるだけでなく、これからの活動への勇気を頂いた発表になりました。